

記事内容

- ☆平和行動 in 沖縄(1~3ページ) / オルガナイザー研修会(実践編)
- ☆第7回(最終)回答集計結果
- ☆既卒3年以内及び34歳以下の若者対象就職面接会 / 女性のためのSTEP UPセミナー
- ☆良い社会をつくる公共サービスを考える埼玉集会 / 中央ろうきん×こくみん共済 coop 合同セミナー
- ☆8月の行動予定表 / ジェンダー標語 / こくみん共済 coop
- ☆あけぼのビル

2026平和行動 in 沖縄

～ 戦させんしまち みるくせややがて嘆くなよ臣下 命どう宝 ～

6月23日(火)～6月25日(木)に平和4行動のスタートである「平和行動 in 沖縄」が、那覇文化芸術劇場なは一と大劇場で開催されました。

連合埼玉からは構成組織、地域協議会、女性委員会、青年委員会より12名が参加しました。

6月23日の「連合2026平和オキナワ集会」では、基調講演として「報道から平和を問う」と題し、沖縄タイムス編集局長の赤嶺 由紀子氏より講演をいただきました。その後の平和式典では、8月に開催する「平和行動in広島」に向けて、連合沖縄会長から連合広島会長へと「連合・平和行動旗(ピースフラッグ)」が引き継がれました。

6月24日のピース・フィールドワークでは、糸数アブチラガマ、ひめゆりの塔・資料館、平和祈念公園、旧海軍司令部壕などの戦跡を自らの目や肌で感じることで、80年前の戦争の惨劇を深く心に刻みました。

また、「在日米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を求める集会・デモとして、県庁前県民広場をスタートし、牧志公園までのデモ行進に参加者全員で参加しました。

今年は沖縄戦終結から81年目となります。参加者全員でこの平和行動で目の当たりにした戦争の本質、そして実感した平和の大切さを広く伝えていきます。

1日目
(6/23)

■連合2026平和オキナワ集会

と き 14:40～16:45
 場 所 那覇文化芸術劇場なは一と大劇場
 内 容 第1部 講演
 テーマ:報道から平和を問う
 講 師:赤嶺 由紀子氏(沖縄タイムス編集局長)
 第2部 平和式典

2日目
(6/24)■ピース・フィールドワーク
(連合群馬と合同行動)

内 容 糸数アブチラガマ→ひめゆりの塔・資料館(折り鶴献納)→平和祈念公園(献花)→旧海軍司令部壕→沖縄県庁前県民広場からデモ行進

佐藤 悠太(UAゼンセン/ハイデイ日高労働組合)
 岡安 和也(UAゼンセン/ハイデイ日高労働組合)
 馬場 眞司(自動車総連/本田金属労働組合)
 宮崎 直人(JAM埼玉/リズム労働組合)
 堀江 勝一(運輸労連/太平洋陸送労働組合)
 新山 賢太(運輸労連/ヤマト運輸労働組合埼玉支部)
 渡邊 直之(運輸労連/武蔵貨物自動車労働組合)
 持田 佳史(熊谷・深谷・寄居地協/基幹労連・JFE建材労働組合熊谷支部)
 三田 晴之(秩父地協/JEC連合・レゾナック労働組合秩父支部)
 春田 菊枝(女性委員会/運輸労連・ヤマト運輸労働組合東松山支部)
 仲間 陸希(青年委員会/JP労組埼玉東南支部)
 山下 健次(連合埼玉副事務局長)



平和オキナワ集会



平和祈念公園

①平和行動に参加したのは何回目ですか？ ②感想

①初めて

②今回初めて沖縄の平和行動に参加させていただいて、自分の知らなかった沖縄を知るきっかけになりました。広島や長崎に比べるとやや知名度が低いと思いがちでしたが、実際には多くの犠牲を出していたことを知りました。戦火を逃れるために洞窟(ガマ)で生活し生き延びていた事実や自分よりも若い学徒達が傷ついた兵士達の世話をしていたことを学び、胸が締め付けられるようでした。米軍基地の問題などまだまだ傷の癒えないなかで、街の活気や後世に戦争を起こしてはいけないという思いを伝えていこうとする姿勢に感銘を受けました。また、連合群馬の方と一緒に行動するなかで新たな知り合いができたこともこの活動の醍醐味でした。最後に、今後も平和行動に参加させていただきたいと思うと同時に、より多くの方が参加し、思いを共有できることを願っています。



佐藤 悠太

①2回目

②今回、貴重な経験をさせていただきましてありがとうございました。私が生まれてから今までが当たり前ですが、とても幸せなことだと改めて実感しました。81年前の戦争で亡くなった方の遺骨が家族のもとに帰っていないことの事実や当時の話の動画なども非常に心にさりました。ピースフラッグやライブイベントなど沖縄の雰囲気も肌で感じる事ができました。デモ活動も初めて参加して、沖縄の方も参加していて沖縄の方の願いがとてもつまっていると実感しました。ガマの中にも入ってガイドさんの話を聞きながら、当時の状況をイメージしながら体験しましたが、今では考えられない、考えたくないぐらいの出来事が多くありました。その思いは当然消えることがないと思い、改めて私自身幸せな環境で生きていることを実感いたしました。その思いを胸にしまい、これから生きていこうと思いました。



岡安 和也

①初めて

②私はこれまで戦争や人が亡くなる話題が苦手で、できるだけ見ないようにしてきました。しかし今回、初めて平和行動に参加し、実際に現地で話を聞いたり資料に触れたりする中で、自分がどれだけ現実から目を背けていたのかに気づかされました。特に、戦争を経験した方々の証言はとても重く、当時の恐怖や悲しみが伝わってきて、胸が締め付けられる思いでした。また、沖縄の歴史や今も残る基地問題について学ぶことで、戦争は過去の出来事ではなく、今にもつながっている問題だと感じました。平和は当たり前にあるものではなく、多くの犠牲や努力の上に成り立っていることを強く実感しました。今回の経験を通して、苦手だからといって避けるのではなく、自分なりに平和について考え続けることの大切さを学びました。これからは学んだことを周りの人にも伝え、自分にできる小さな行動から平和に貢献していきたいと思います。



馬場 眞司



折り鶴献納



デモ行進

①2回目

②今回平和行動に参加させていただき、当時のまま残された壕や資料に触れることでこれまで教科書やテレビで学んできた戦争をより身近なものとして感じる事ができました。特に負傷した兵士や住民の方々が残した言葉は生々しく、当時を生きた方々に思いを向けやすくなりましたが、それと同時に、当時の過酷な状況を本当に理解することの難しさも感じました。さらに、沖縄に今も多く米軍基地が存在していることについて、戦争を経験した方々がどのような思いで生きてこられたのかを考えさせられました。基地問題は簡単に答えの出せるものではありませんが、沖縄が抱える歴史や現状について関心を持ち続けることが大切だと感じました。今回の平和行動を通して、戦争について改めて深く考える事ができました。この貴重な経験を無駄にせず、平和の大切さを忘れずにいたいと思います。貴重な体験をさせていただき、誠にありがとうございました。



宮崎 直人

①初めて

②今回初めて平和行動に参加させていただきました。恥ずかしながら沖縄戦の事や米軍基地問題についてはニュース等で見聞きするぐらいの知識でした。フィールドワークで訪れた糸数アブラガマで真っ暗な中、出ていく人、残される人の思いはどうであったのかを考えると胸が詰まりました。しかし、語り部の方の戦争は「人間が人間でなくなる」という話を聞くと、今の私には想像も出来ない状況であったのだと思います。また不発弾処理が日常である現実を知り、戦争は未だ終わっていないという事も実感しました。今回の経験をいろんな人達に伝えて平和の大切さを広めていきたいと思います。



堀江 勝一

①2回目

②平和行動は、単組での広島平和行動に参加をした事があり、2度目の参加となりました。広島での平和行動とは、大きく違ったところが地上戦という事で、原爆の恐ろしさとはまた違う戦争の恐ろしさを学びました。ガマに隠れていないと、敵兵に襲われミサイルが飛んでいるという状況が、どんなに悲惨だったのか、想像を絶するものだったと思います。沖縄戦では沢山の若年層の人が、命を落としました。自分の子供にも今こうして普通でいられる事が、当たり前ではないという事を伝えたいと思いました。日本は敗戦によって思想の自由が、生まれたものだと思いますが、世界には未だに戦争前の日本の思想と似たような国が多くあると考えられます。平和行動は日本だけでなく、世界に向けてきちんと発信ができれば、少しでも世界平和や戦争のない世界になるのかなと感じました。



新山 賢太

①2回目

②広島に続き2回目の平和行動で沖縄に参加させて頂きました。広島では戦争というよりは、原爆被害の悲惨が目立ちましたが、今回は沖縄戦の遺構や資料館で戦争という物の怖さや異常さを改めて実感出来ました。やはり頭では解っていても実際に見聞きして体験すると戦争の悲劇は繰り返してはいけない事だと強く願わずにはいられませんでした。今、世界で色々な紛争が起こっていますが、早く終結させる為に少しでも出来る事を行動していけたら良いと思います。



渡邊 直之

①4回目

②長崎、広島に続き今回、沖縄に参加させて頂きました。どの場所でも悲惨さ、過酷さ、悲しみがそれぞれ有り、沖縄においては海に囲まれ逃げ場を無くし、それでも国、家族を思い最後まで戦い抜いた先人達の思いを強く感じました。「糸数アブチラガマ」という地下壕は足場も悪く灯が無ければ1ミリ先も見えないような環境で南風原陸軍病院の分室として用いられ600人以上の負傷兵や病院に携わる軍医、看護婦、ひめゆり学徒隊がいつ攻撃されるか分からない過酷な環境で生活を行っており、私の浅はかな想像をはるかに超越していました。戦争が招いてしまった悲しみを受け継ぎ、傷跡深い記憶や記録を消すことなく次の世代にしっかりと引き継いでいく事の意味をもう一度考え直し、自分が出来る事は小さいかもしれませんが少しでも力を注ぐ事、自らが行動を起こすという事を胸に置きこれからの時間を進めていこうと思います。



持田 佳史

①2回目

②今回、単組に話が回ってきた際、正直旅行半分くらいの気分で手を挙げたのですが、実際に参加してみると、初日の平和式典では全国から集まった連合の構成組織や各地方連合からの参加者の数に圧倒されました。2日目の視察では、糸数アブチラガマ内での学徒隊やそこで治療を受けていた兵隊の話聞き、ひめゆりの塔や平和記念資料館では、当時の学徒隊の体験談や戦時映像を見聞きして、決して戦争を再発させたくない、再発させないために何をしたらよいのか考えさせられました。その後は県庁前広場からのデモ行進に参加し、沖縄での基地縮小を訴える発声をあげましたが、気分が高揚し、シュプレヒコールの効果を実感しました。今回のようなよい意味で使用されているうちは良いですが、こういった行為が過去日本の戦時教育で使用され、悲惨な戦争に繋がったのだと感じました。



三田 晴之

①4回目

②沖縄の平和行動に参加させていただき戦後81年が経った今、戦争を実際に経験した方々が少なくなり、その体験を直接聞く機会が失われつつあることを改めて実感しました。激しい戦いの中で、多くの人が家族や住む家、かけがえのない日常を失ったことを知り、平和は決して当たり前ではないと感じました。戦争の悲惨さを忘れず、語り継いでいくことが私たちの役割だと思います。二度と同じ悲劇を繰り返さないためにも、一人ひとりが平和の尊さを心に刻み、未来へつないでいきたいと思っています。



春田 菊枝

①2回目

②平和行動in沖縄に参加し現地でしか得られない貴重な経験が出来、学びになりました。ガマや旧海軍司令部壕など個人では行かない所を回り、ガイドさんの話を聞きながら回るガマは 当時の恐怖を想像し胸が締め付けられました。戦争は言葉に出来ない程恐ろしいことだと改めて痛感し今ある平和が当たり前ではないことを忘れず、学んだことを伝え運動を続けていきたいと思っています。



仲間 陸希

オルガナイザー研修会(実践)を開催!

～組織化に関わる人材の裾野を広げる～

連合埼玉では、2026～2027年度運動方針の冒頭に組織拡大を掲げています。また、「連合埼玉組織拡大プラン2030」フェーズIIにおける「23万連合埼玉の実現」の目標達成に向け、連合埼玉ならびに構成組織が主体的に取り組むために、組合づくりを担う組織拡大実務者(オルガナイザー)の育成が重要と考えています。

組織化の必要性を理解し、各構成組織の役職員が組織化に必要な知識を学び、オルガナイザーをめざすきっかけづくりとなるよう、オルガナイザー研修会として、6月19日(金)に実際の企業訪問をつうじた組織拡大の実践をおこないました。

当日はネット21各事務所(川越・久喜・熊谷)と連合埼玉の4会場に集合し、楠本組織委員会委員長の開会のあいさつ後、参加者総勢22名が8班に分かれ、副事務局長やアドバイザーと一緒に訪問オルグをスタートしました。

各班にて県内約40の企業を訪問し、今回は主に「取引の適正化」のアンケートを活用して、取締役や人事総務担当者らと面会しました。直接の組織化につながる企業はなかったものの、取引の適正化に対する取り組み状況

や、労務管理に関して情報交換をおこなうなど、今後につながる対話のきっかけを得ることができました。

訪問オルグ終了後、各会場をWebでつなぎ、結果報告をおこないました。

参加者からは「アンケートをつうじて、異なる産業でも共通する悩みがあることがわかった」「今回経験したことを、今後の組織拡大に向けてつうじていきたい」などの報告がありました。

各班からの報告をうけ、大谷事務局長より「連合埼玉組織拡大プラン2030フェーズIIは、皆さんの協力がなくては成しえない。組織化し組合員を増やすことは大事である。このような地道な活動をつうじて次へつうじていきたい」と講評がありました。

引き続き今回のオルグ活動のフォローをオルガナイザー、副事務局長、アドバイザーがおこない、「連合埼玉組織拡大プラン2030フェーズII」で掲げた目標達成に向けて活動を進めていきます。構成組織、地域協議会の皆さんも目標達成に向けて、ともに頑張りましょう!



楠本委員長



連合:2026年春季生活闘争 第7回(最終)回答集計結果(抜粋)

3年連続の5%超え!

連合は2026春季生活闘争の第7回答集計(7月1日時点)を7月3日(金)に公表しました。

【概要】

- 月例賃金改善(定昇維持含む)を要求した5,564組合中5,162組合が妥結済み(92.9%)。うち賃金改善分獲得が明らかな組合は2,980組合・57.7%。
- 平均賃金方式で回答を引き出した5,368組合の加重平均(規模計)は16,400円・5.01%(昨年同時期比44円増・0.24ポイント減)となった。300人未満の中小組合(3,831組合)は、12,866円・4.69%(同505円増・0.04ポイント増)であった。いずれも額では昨年同時期を上回っている。
- 賃上げ分が明確にわかる3,732組合の賃上げ分は11,510円・3.50%(同217円減・0.20ポイント減)。うち、300人未満の中小組合2,385組合の加重平均は9,840円・3.51%(同372円増・0.02ポイント増)で、額・率ともに昨年同時期を上回るとともに、率では全体をも上回った。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給75.01円(同8.03円増)、昨年同時期を上回った。時給の引上げ率(概算)は6.18%で、一般組合員(平均賃金方式)を上回っている。

1. 賃金引上げ(月例賃金) <第7回答(集計)結果(7月1日集計・7月3日公表)>

①平均賃金方式(集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式		2026回答 (2026年7月3日公表)			昨年対比	2025回答 (2025年7月3日公表)			
		累計組合数	定昇相当込み賃上げ計			累計組合数	定昇相当込み賃上げ計		
		累計組合員数	額	率		累計組合員数	額	率	
		5,368 組合 2,956,941 人	16,400 円	5.01 %	44 円 ▲ 0.24 ポイント	5,162 組合 2,962,661 人	16,356 円	5.25 %	
300人未満 計		3,831 組合 366,529 人	12,866 円	4.69 %	505 円 0.04 ポイント	3,677 組合 348,833 人	12,361 円	4.65 %	
		~99人	2,321 組合 97,817 人	11,124 円	4.26 %	202 円 ▲ 0.10 ポイント	2,246 組合 95,790 人	10,922 円	4.36 %
		100~299人	1,510 組合 268,712 人	13,505 円	4.83 %	596 円 0.07 ポイント	1,431 組合 253,043 人	12,909 円	4.76 %
		300人以上 計	1,537 組合 2,590,412 人	16,897 円	5.05 %	▲ 23 円 ▲ 0.28 ポイント	1,485 組合 2,613,828 人	16,920 円	5.33 %
		300~999人	1,023 組合 546,688 人	15,095 円	4.99 %	260 円 ▲ 0.09 ポイント	984 組合 526,998 人	14,835 円	5.08 %
		1000人~	514 組合 2,043,724 人	17,359 円	5.06 %	▲ 92 円 ▲ 0.33 ポイント	501 組合 2,086,830 人	17,451 円	5.39 %

※2026年と2025年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨対比は整合しない。

②有期・短時間・契約等労働者の賃上げ

時給		2026回答（2026年7月3日公表）			昨対比	2025回答（2025年7月3日公表）		
		累計組合数 累計組合員数	賃上げ額・率	平均時給 (参考値)		累計組合数 累計組合員数	賃上げ額・率	平均時給 (参考値)
単純平均		400 組合	66.63 円 5.44 %	1,290.95 円	6.98 円 0.27 ポイント	384 組合	59.65 円 5.17 %	1,213.28 円
加重平均			917,964 人	75.01 円 6.18 %	1,289.11 円		8.03 円 0.37 ポイント	861,305 人

既卒3年以内及び34歳以下の若者対象就職面接会 埼玉労働局と共催で開催！

6月22日(月)13時30分より大宮ソニックシティ地下展示場にて、連合埼玉・埼玉労働局共催による「既卒3年以内及び34歳以下の若年者対象就職面接会」を開催しました。

会場には116社(内9社は連合埼玉をつうじてエントリー)の企業が参加し、127名の求職者が集まりました。

面接会開催に先立ち、埼玉労働局片淵 仁文局長と連合埼玉今井会長から挨拶がありました。今井会長からは「この就職面接会は、2008年のリーマンショックによる深刻な雇用不安を受け、2011年より埼玉労働局と連携し、既卒3年以内の若者を対象に新規求人の働きかけを続けてきました。さらに2020年より、いわゆる「就職氷河期世代」への支援の必要性から求職対象を34歳以下に拡大して開催しています。企業と出会い対話できる「リアル場」を設ける意義は、益々高まっています。今後の社会は構造的な労働力不足と向

き合う時代に入ってきており、持続可能な成長を遂げるためには、人材の確保と職場環境の整備が必要不可欠です。求職者の皆さんは、積極的に企業ブースを訪問して頂き、自分の将来像と向き合うきっかけにしたいと思います。本日の面接会が求職者の皆さん、参加企業の皆さん双方にとって有意義な時間となることをご祈念申し上げます。」と挨拶がありました。その後、面接会がスタートし、求職者の方々が、各々の企業ブースを訪問し、熱心に質問をしている状況が多くブースで見受けられました。



片淵労働局長



今井連合埼玉会長

女性のためのSTEP UPセミナーを開催！ 「AIで実務の効率化、創造性を倍に」



参加者の皆さん

女性委員会では、6月26日(金)に「女性のためのSTEP UPセミナー～女性が労働組合で輝くために～」をあげぼのビル5F会議室にて開催し、構成組織からの参加者および幹事・事務局をあわせて、25名の方に参加していただきました。冒頭、女性委員会を代表し佐藤委員長から、「セミナー参加への感謝とともに、今回のセミナーは昨今話題のAIをテーマにして開催している。日常業務、組合活動など様々な面で、AIを効率的に活かして欲しい。」との挨拶がされました。講師としてアカリンク合同会社代表の相馬 正伸氏を

お招きし、「AIで実務の効率化、創造性を倍に～役員業務を支える最強のパートナー活用術～」をテーマにAIの基礎を学びました。講師の相馬氏はDXに関する著書も出版されており、AIについて分かりやすく、丁寧にご説明いただき理解する事ができました。

また、「AIは人の仕事を奪う道具ではなく、新しい価値を生み出すためのパートナー」というキーワードもあり、今後も正しい知識を持ちつつ、AIを「仕事の良きパートナー」として効率的に活用していきたいと思いました。また今回のセミナーは入門編として基礎の部分を学び、次回の実践編では実際にAIを操作するといった2部構成でのセミナーとなります。次回開催も楽しみにして下さい。

アカリンク合同会社
代表 相馬 正伸氏

セミナー風景



埼玉県公務労協サービス労働組合協議会主催

良い社会をつくる公共サービスを考える7.9埼玉集会を開催

7月9日(木)、浦和コミュニティセンターにて、埼玉公務労協主催の「良い社会をつくる公共サービスを考える7.9埼玉集会」が開催されました。

冒頭に主催者を代表して、埼玉公務労協椎名議長、共催団体を代表して連合埼玉今井会長より挨拶がありました。その後、「食料安全保障の理念と政策～令和のコメ騒動と改正基本法から考える～」というテーマで、日本大学法学部の西川邦夫氏を招き、講演をいただきました。

西川氏からは、日本のコメ市場は需要の縮小と生産力の脆弱化により、食料安全保障上の問題が生じていることが語られました。また、食料・農業・農村基本法の改正により、食料安全保障が農政の最上位の理念に位置づけられたことなどが述べられました。

しかしながら、令和のコメ騒動の要因は生産調整の

失敗による需給ギャップの発生や流通対策の不備などにあるといった、コメ政策が抱える問題点が述べられました。その解決策として、農地の集積や生産性の上昇に向けた活動、農業者に対する適切なセーフティネットの保証などが挙げられ、参加者が大きくうなずき賛同していることが印象的な集会となりました。

最後に埼玉公務労協高橋副議長から、参加者総勢111名が一丸となって活動を進めていく確認がされました。



講師:西川邦夫氏



会場の様子

「ろうきん」×「こくみん共済 coop」合同セミナー

～これからの「お金」と「保障」どうする？ 歴史から学ぶ安心のライフプランづくり～

7月13日(月)にときわ会館にて、「ろうきん」×「こくみん共済 coop」合同セミナー ～これからの「お金」と「保障」どうする？歴史から学ぶ安心のライフプランづくり～が開催されました。

当日は連合埼玉役員、構成組織や地域協議会など、参加者総勢82名でセミナーをスタートしました。

第1部では、埼玉労福協の佐藤道明氏より、労働者自主福祉運動および両機関の歴史について講演を受けました。戦後の生活物資不足のなか、「福祉はひとつ」を合言葉に運動が始まったことや、高利貸しからの解放をめざした労働金庫の設立背景について学びました。また、新潟大火などを契機に労働者の手による共済事業が全国へ広がった歴史や、自然災害に対する2,500万人署名活動などの社会的課題の解決にむけた歩みが語られました。労働組合と協同組合は「業者とお客様」ではなく、ともに運動を進める主体であることが確認されました。

第2部では、(株)FPユニオンLaboの吉上美枝子氏を講師に招き、ライフプランセミナーをおこないまし

た。はじめにグループワークを実施し、最近の利上げや物価上昇を日常の中でどのように感じるか、暮らしを守るための対策などについて各グループで活発に意見を交わしました。その後、結婚、教育、奨学金、住宅、老後といったライフイベントごとに必要な備えについて説明がありました。さらに、安心した老後を送るために、様々な投資の種類や性格を理解して資産寿命を延ばす方法や、こくみん共済 coop などの共済を上手に活用して可処分所得を増やすことの重要性について理解を深めました。

最後に両機関からの現在の取り組み内容について説明を受け、充実したセミナーとなりました。



佐藤道明氏



吉上美枝子氏

現在予定される8月の日程表です

8月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	土		埼玉県電力総連「第46回定時大会」(9:30～・ときわ会館)
2日	日		
3日	月	①連合埼玉「第9回四役会議」(10:00～・ときわ会館) ②連合埼玉「第9回執行委員会」(13:00～・ときわ会館) ③第51回衆議院議員選挙「第2回選挙対策委員会」(15:30～・ときわ会館)	
4日	火	平和行動 in 広島(～6日)	①埼玉県生産性本部「会員交流研修」(14:00～・大宮ソニックシティ) ②本庄・児玉郡市地域協議会「幹事会」(18:30～・はにぼんプラザ) ③寄居町長選挙告示日
5日	水		第2回九都県市政策担当協議会(16:30～・WEB)
6日	木	公契約条例制定に向けた学習会(さいたま市議団)(16:00～・連合埼玉)	埼玉県「令和8年度第1回人手不足対策分科会」(9:30～・新都心ビジネス交流プラザ)
7日	金		①連合「春季生活闘争学習会」(10:00～・WEB) ②ネット21「記念誌編集委員会」(10:30～・連合埼玉) ③関東ブロック「オルガナイザー連絡会議」(13:30～・WEB)
8日	土	平和行動 in 長崎(～10日)	
9日	日		寄居町長選挙投票日
10日	月	夏期休暇	
11日	火		
12日	水		
13日	木		
14日	金		
15日	土		支払基金審査運営協議会(15:00～・社会保険診療報酬支払基金北関東地域審査事務センター)
16日	日		
17日	月		
18日	火		
19日	水		
20日	木		
21日	金	連合埼玉「臨時四役研修会」(～22日・三重県)	県央地域協議会「幹事会」(18:30～・ろうきん上尾支店)
22日	土		
23日	日		
24日	月	①埼玉労働局への要請(10:00～・埼玉労働局) ②女性のためのSTEP UPセミナー(14:30～・あけぼのビル)	①第2回埼玉県ケアラー支援に関する有職者会議(9:30～・WEB) ②第48回連合関東ブロック・中央ろうきん協力会議(15:00～・中央労働金庫本店)
25日	火	青年委員会「第9回幹事会」(18:00～・連合埼玉)	
26日	水	令和8年度特定(産業別)最賃検討会議(13:30～・さいたま共済会館)	①全日本自治団体労働組合「第100回定期大会」(10:00～・大宮ソニックシティ) ②労働者共済生活協同組合「第64回通常総代会」(13:00～・ロイヤルパインズホテル浦和) ③さいたま市地域協議会「幹事会」(18:30～・あけぼのビル)
27日	木		
28日	金		埼玉県「性の多様性に関する施策推進会議」(10:30～・県庁周辺)
29日	土		
30日	日		
31日	月		①埼玉労福協「第3回理事会」(10:00～・ときわ会館) ②連合本部「2026組織拡大推進会議」(13:30～・日暮里ラングウッド)

「男女平等参画、ジェンダー平等の推進、均等待遇、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」に向けた標語

◇最優秀賞

多様性こそ可能性 彩る未来は無限大
(自動車総連埼玉地協 マレリ労働組合・関口 和樹さん)

※2026年度 ジェンダー平等・多様性推進に向けた「トップリーダー宣言」
標語については、連合埼玉ホームページにも掲載されています。

最優秀賞
授与の様子▶



「もしも」に備え
「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会」の実現に向け、
皆さまとともに取り組んでいきます。



公式キャラクター
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。



◆夏休みは「道の駅」で地域の魅力を満喫! ～災害への備えを万全にした上で!～

夏休みを迎え、家族や友人などと旅行を計画している人も多いのではないのでしょうか。

近年では、宿泊施設の予約に縛られず、自由な旅を楽しむキャンピングカーの人气が高まっています。その旅をより快適にしてくれる存在が、全国各地に広がる「道の駅」です。

地域の魅力が凝縮された道の駅は、休憩施設という枠を超え、観光や交流、防災の拠点として重要な役割を担っています。

現在、全国には1,200ヶ所を超える道の駅が整備され、それぞれが地域色豊かな特色を打ち出しています。地元農家が朝採れ野菜を販売する直売所、新鮮な海産物やブランド肉を味わえるレストラン、天然温泉や足湯、子どもが遊べる広場など、家族みんなで楽しめる施設が増えています。

旅行情報誌や利用者アンケートで高い評価を受ける道の駅として知られるのが、群馬県「川場田園プラザ」です。広大な敷地には地元産小麦を使ったパン工房や地ビールレストラン、芝生広場が整備され、一日中滞在しても飽きることがないと言われています。

また、北海道や長野県、九州地方にも景観や食を楽しむ人気の道の駅が数多くあり、キャンピングカー利用者から高い支持を集めています。

なお、「道の駅グランプリ2026ランキング」は以下のとおりです。

※じゃらんニュースより

順位	2025	駅名	所在地	満足度
1	1	道の駅川場田園プラザ	群馬県	84.4%
2	5	あ・ら・伊達な道の駅	宮城県	82.7%
3	4	道の駅 遠野 風の丘	岩手県	79.0%
4	—	道の駅 しちのへ	青森県	79.0%
5	3	道の駅 許田	沖縄県	76.6%
6	6	道の駅 富士川楽座	静岡県	74.0%
7	—	道の駅 八幡浜みなと	愛媛県	73.0%
8	9	道の駅 センザキッチン	山口県	72.9%
9	—	道の駅 くるくる なんと	徳島県	71.9%
10	—	道の駅 米沢	山形県	71.7%

キャンピングカー旅行の魅力は、何と言っても自由度の高さです。天候や気分に合わせて行き先を変更でき、気に入った場所ではゆっくりと時間を過ごせます。ホテルや旅

館とは違い、家族だけのプライベート空間を確保できることも人気の理由です。また、小さな子ども連れやペットと一緒にの旅行でも周囲に気兼ねなく過ごせることから、利用者は年々増加しています。

一方で、自由な旅だからこそ忘れてはならないのが災害への備えです。

日本は世界でも有数の地震多発国であり、旅行中に地震へ遭遇する可能性は誰にでもあります。近年も各地で大きな地震が発生し、改めて日頃からの防災意識の重要性が再認識されています。直近の6月21日～7月20日の1ヶ月でも157回もの地震が発生しています。

最大震度	回数	最大震度	回数
震度1	111	震度5弱	1
震度2	26	震度6弱	1
震度3	13	震度6強	1
震度4	4		

そのような中、夏休みには海岸沿いや山間部への旅行も多くなります。海沿いでは津波、山間部では土砂災害など、地域によって注意すべき災害が異なります。出発前には旅行先のハザードマップを確認し、避難場所や避難経路を把握しておくことが重要です。スマートフォンには自治体の防災アプリや気象情報アプリを入れておくと、緊急情報をいち早く受け取ることができます。

道の駅の中には、防災拠点として位置付けられている施設も少なくありません。災害時には物資の集積や情報提供の拠点として活用される場所もあります。しかし、すべての道の駅が避難所として利用できるわけではありません。

地震発生時には施設の案内や自治体、防災機関の指示に従い、必要に応じて高台や指定避難所へ速やかに避難することが何よりも重要と考えています。

旅行は、日常から離れて心身をリフレッシュする貴重な時間です。

働く私たちにとって、家族と過ごす時間や趣味を楽しむ時間は、仕事への活力にもつながります。しかし、楽しい思い出をつくるためには、安全があってこそです。「自分だけは大丈夫」と考えず、「備えあれば憂いなし」の気持ちで準備を進めることが重要ではないのでしょうか。

道の駅は地域経済を支える存在でもあります。地元で採れた農産物や加工品を購入することは、生産者の応援につながり、地域の活性化にも貢献します。各地ならではの食文化や歴史、人との交流は、旅の大きな魅力です。

夏休みには、目的地だけを指すのではなく、道の駅を巡りながら地域の新たな魅力を発見する旅を楽しんでみてはいかがでしょうか。安全で充実した夏休みを過ごし、心身ともにリフレッシュして、また元気に仕事や日常生活へ戻っていただきたいと思います。

2026.7.21